

CONTENTS

報告

Report

Jean- Pierre Changeux 博士が来日 02-03



所長・副所長との意見交換



京都大学での講演会

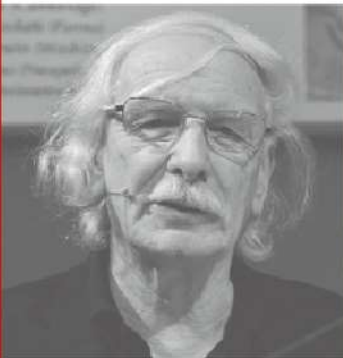


若手研究者とのディスカッション

お知らせ

Information

「高等研カンファレンス」・「高等研レクチャー」の開催概要が決定 04-06



Giacomo Rizzolatti



入来 篤史



Frans de Waal



松沢 哲郎

報告

Report

京都大学数理解析研究所との共同研究で合宿型セミナーを開催 07

報告

Report

精華町教員の研修 07

お知らせ

Information

研究活動実績・研究活動予定 08

事務局だより

Secretariat

..... 08





日本学術振興会 外国人著名研究者招へい事業

Jean- Pierre Changeux 博士が来日

報 告

日 本学術振興会「外国人著名研究者招へい事業」により、この度、Jean- Pierre Changeux (ジャン=ピエール・シャンジュール)博士が昨年的高等研カンファレンスに引き続き来日しました。Changeux博士は、タンパク質のアロステリックモデルを提唱した世界的先駆者として著名な業績を残され、現在もパスツール研究所(仏)を代表する研究者です。



尾池所長・志村副所長との懇談

9月6日(木)当研究所に来所され、尾池所長及び志村副所長と、当研究所における今後の学術研究の推進と役割等について懇談が行われました。その主たる内容は次のとおりです。

志村：昨年、高等研は最初の『高等研カンファレンス「Frontiers in Neuroscience: From Brain to Mind」』を開催し、Changeux博士にも招待講演者として出席していただきました。また、高等研レクチャーでも講演をしていただきましたが、この高等研カンファレンス・高等研レクチャーについての博士の印象はいかがでしたでしょうか。

Changeux博士：高等研カンファレンスは、昨年初のことですが、私は、極めてレベルの高い科学者が海外からも集まり、非常に良い議論の場だったとの印象を持っています。強いてマイナスポイントを挙げれば、ホテルと会場(高等研)が少

し遠かったということくらいでしょうか。

志村：今年的高等研カンファレンスは「Evolutionary Origins of Human Mind」と題して開催します。また、このカンファレンスは今後も毎年続けていく予定です。

Changeux博士：このようなカンファレンスは高等研として是非継続していくべきです。私の経験から言えば、オーガナイザーが極めて重要ですので、その選択には十分留意すべきです。今年のオーガナイザーは松沢哲郎氏とのことですが、それは良い選択だと思います。昨年度の高等研レクチャーでの彼の講演はとても印象深かった。今年のテーマ「Evolutionary Origins of Human Mind」も良いでしょう。

志村：ありがとうございます。頂戴したご意見を今後のカンファレンスの開催に活かしていくようにします。

尾池：次に、高等研の設立目的に照らして、高等研は将来、どのような研究を推進していくべきでしょうか。

Changeux博士：これまで、高等研で生命科学の研究は行われてきてはいますが、数学、物理も含めて、より広範な基礎生物学そのものが少ないのが気になります。社会科学は重要だと思いますが、社会学や認知学のテーマが多く、広範囲になって焦点がぼやけている印象があります。いくつかの学問分野に絞り込むことが重要ではないでしょうか。

尾池：具体的には、どのようなテーマが必要になってくるのでしょうか。

Changeux博士：まず、絞り込みをする際には、何に焦点を当てるか、ヘッドラインを示すことが重要です。例えば、「エネルギーの将来」「環境の将来」「人文科学の将来」など、人間との関係で基礎科学を続けることが大切と考えます。例えば、“Basic science & humanity”（基礎科学と人文科学）などのテーマが興味深いです。

尾池：そのテーマは私たちも注目しているところです。博士から頂いたご意見を参考に、当研究所の研究企画会議などで更なる検討を進めることといたします。

なお、懇談に先立ち、博士の青年期から現在に至る研究活動のエピソードや絵画収集のご趣味などのお話も伺うことができました。

東京と京都にて講演と意見交換



東京と京都で講演会が開催されました。

東京(9月1日：日本パストツール協会主催、国際高等研究所後援)では、シンポジウム「ルイ・パストツール生誕190周年記念：脳神経障害からの回復を目指して」にて、「神経レセプターの発見から治療薬の開発まで」の題目で講演が行なわれました。

講演では、ニコチン受容体を中心としてアロステリックなチャネルの機能が紹介され、病気とどのような関わりがあるか、特にニコチン受容体のノックアウトマウスを例にして、脳障害と治療薬との関連も紹介されました。会場からは、病気の治療法に関する質問が多く出され、それに対してニコチン受容体を例にして分子レベルでの治療メカニズムも紹介されていました。

京都(9月7日：京都大学医学研究科沼記念講演会実行委員会・国際高等研究所の共催)では、「アロステリック制御—生体における情報伝達機構の原理解明と創薬開発の基盤—その歴史と展望」の題目で講演が行われました。講演では、アロステリック制御のアイデアの発端と意義、初期の研究について説明された後、最新の知見に基づいてアロステリック制御による生体メカニズムの原理解明や創薬への応用について解説されました。

引き続き行われた若手研究者を中心とした討論では、タンパクの分子レベルの解析から意識のような高次の脳機能にいたる様々な問題について活発な議論が交わされました。当初の予定の時間を超えても若手研究者からの質問が途切れることなく、討論は2時間近く続きました。

両会場とも約70名の研究者等が参加し、活発な質疑応答が行われました。Changeux博士の講演は大変内容の深いもので、質疑を行ううちにさらに深化した内容に及びました。そのことにより、参加者からは、研究の新しい展望へのヒントを得たという声も聞かれ、意義のある時間となりました。

また、来日中には東京大学や理化学研究所の研究室など多数訪問され、精力的に研究者との意見交換や、若手研究者への研究指導などが行われました。





お知らせ

「高等研カンファレンス」・「高等研レクチャー」

「高等研カンファレンス」・「高等研レクチャー」の開催概要が決定

昨年度に開催した第1回高等研カンファレンスは、人間の心ないし意識と呼ばれるものの脳内機構とその分子的なメカニズムの解明に焦点を当て、「脳と心」の問題を還元論的なアプローチで神経科学の最前線から迫りました。

第2回となる今年度においては、社会や文化や生態環境や進化といった視点から心の働きの全体的アプローチを行うべく、心と脳の問題を非還元論的な手法（対象をより大きな枠組みの中で捉える視点）を取り入れ、神経基盤だけでなく、社会基盤、発達基盤、進化基盤に基づいた解明を目指し、人間のアウトグループ（対象の外に位置するもの）として認知ロボティクスも加えて、国内外の一流の研究者が、主として、未発表の最新の研究成果を持ち寄って議論を深め、分野横断的な広い視点から問題を捉えることとしています。

このようなアプローチにより、心の科学研究

は、従来の脳科学の範疇を越えて、人間の心のまろごと全体を理解することができるのではないかと期待されます。さらに、現代社会

において、現実の暮らしに存在し、我々が解明しなければならない、例えば自閉症などの発達障害を視野に入れ、そうした社会的ニーズに応える「心の起源」の先端研究が一層推進されることも期待されています。

ポスター発表などの申込みは、http://www.iias.or.jp/research/iias_conference/2012/info.htmlをご覧ください。



オーガナイザー：
松沢 哲郎（京都大学霊長類研究所教授）

高等研カンファレンス2012「Evolutionary Origins of Human Mind」

- 日時 2012年12月3日(月)～6日(木)
- 場所 国際高等研究所
- 主な招待講演者

浅田 稔 大阪大学大学院工学研究科

足立 幾磨 京都大学霊長類研究所

石黒 浩 大阪大学大学院基礎工学研究科

入来 篤史 理化学研究所脳科学総合研究センター

菊水 健史 麻布大学獣医学部

北澤 茂 大阪大学大学院医学研究科

坂野 仁 東京大学名誉教授

明和 政子 京都大学大学院教育学研究科

山岸 俊男 玉川大学脳科学研究科

渡辺 茂 慶應義塾大学大学院文学研究科

Dora Biro Oxford University, UK

Josep Call Max Planck Institute, Germany

David Leopold National Institute of Mental Health, USA

William McGrew University of Cambridge, UK

Giacomo Rizzolatti University of Parma, Italy

Giulio Sandini Italian Institute of Technology, Italy

Crickette Sanz Washington University in St. Louis, USA

Shinsuke Shimojo California Institute of Technology, USA

David Skuse University of London, UK

Frans de Waal Emory University, USA

●プログラム(予定)

- Monday, December 3 -

- 13:15-13:30 Welcome Address
Kazuo Oike (IIAS)
- 13:30-14:00 Overview of the International Conference
Tetsuro Matsuzawa (Kyoto Univ.)
- 14:00-17:30 **Session 1**
“Chimpanzee Culture”
William McGrew (Univ. Cambridge, UK)
Crickette Sanz
(Washington Univ. in St. Louis, USA)
Dora Biro (Oxford Univ., UK)

- Tuesday, December 4 -

- 09:00-12:00 **Session 2**
“Cognitive Development and Disorders”
David Skuse (Univ. London, UK)
Shigeru Kitazawa (Osaka Univ.)
Masako Myowa-Yamakoshi
(Kyoto Univ.)
- 13:00-16:30 **Session 3**
“Cognitive Robotics”
Minoru Asada (Osaka Univ.)
Giulio Sandini
(Italian Institute of Technology, Italy)
Hiroschi Ishiguro (Osaka Univ.)
- 16:30-18:30 Poster Presentation

- Wednesday, December 5 -

- 09:00-12:00 **Session 4**
“Neural Basis”
Giacomo Rizzolatti
(Univ. Parma, Italy)
Atsushi Iriki (RIKEN)
Hitoshi Sakano (Univ. Tokyo)

- 13:00-16:00 **Session 5**
“Primates and Nonprimates”
Shigeru Watanabe (Keio Univ.)
Takefumi Kikusui (Azabu Univ.)
Josep Call
(Max Planck Institute, Germany)
- 16:30-18:30 **Session 6**
“Empathy and Trust”
Frans de Waal (Emory Univ., USA)
Toshio Yamagishi
(Tamagawa Univ.)

- Thursday, December 6 -

- 09:00-12:00 **Session 7**
“Human Uniqueness”
David Leopold
(National Institute of Mental Health, USA)
Ikuma Adachi (Kyoto Univ.)
Shinsuke Shimojo
(California Institute of Technology, USA)
- 12:00-12:15 **Concluding Remarks**
Yoshiro Shimura (IIAS)



カンファレンスポスター



「高等研カンファレンス」・「高等研レクチャー」

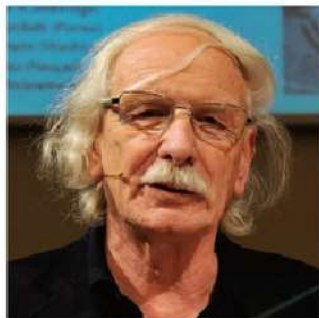
「高等研カンファレンス」・「高等研レクチャー」の開催概要が決定

高等研レクチャー 2012 「心の進化的起源」

- 日時 2012年12月8日(土) 13:30~17:00
- 場所 東京大学伊藤謝恩ホール

「高等研レクチャー」は、直前に実施する「高等研カンファレンス」の成果や情報について広く一般の方々に示すことを目的としています。

講演者は、心と脳をつなぐ大きな発見のひとつである「ミラーニューロン」の発見者であるジァコマ・リゾラティー（イタリア・パルマ大学）、サル の 道具 使用 の 神経 科学研究 から「認知的ニッチ構築」という新たな概念を生み出した入来



Giacomo Rizzolatti



入来 篤史



Frans de Waal

篤史（理化学研究所）、人間以外の動物にも広く認められる「共感」を基礎に行動学の立場から人間の心の本質を読み解こうとしているフランス・ドゥパール（米国・エモリー大学）を予定しており、心と脳の科学的研究を、神経科学や認知科学や行動学という広がりをもった視点で紹介します。

参加申込みはhttp://www.ias.or.jp/research/ias_lecture/2012/info.htmlをご覧ください。

高等研レクチャー 2012

心の進化的起源

IIAS Lecture 2012
Evolutionary Origins of Human Mind

2012年12月8日(土) 13:30-17:00
Date: December 8 Sat, 2012 13:30-17:00

東京大学伊藤謝恩ホール（本郷キャンパス）
Venue: Ito International Research Center, The University of Tokyo (Hongo Campus)

主催: 財団法人国際高等研究所
Organizer: International Institute for Advanced Studies
後援: 文部科学省・日本学術振興会
Sponsored by: Ministry of Education, Culture, Sports, Science & Technology, Japan Society for the Promotion of Science

使用言語: 英語 (同時通訳あり)
Language: English (with simultaneous interpretation)
申込: 無料 (先着順)
Application: Free (advance registration required)



詳細申込み
ホームページの申込みフォームから申し込みください。
(<http://www.ias.or.jp/>)
Those who are interested in attending the lecture should apply via our website (<http://www.ias.or.jp/>)



Program

司会: 尾池 和夫 (国際高等研究所)
Chair: Tsutomu Iriguchi (International Institute for Advanced Studies)

講演者: 吉澤 哲郎 (国際高等研究所)
Lecturer: Tetsuro Yoshizawa (International Institute for Advanced Studies)

講演者: 尾池 和夫 (国際高等研究所)
Lecturer: Tsutomu Iriguchi (International Institute for Advanced Studies)

講演者: 入来 篤史 (理化学研究所)
Lecturer: Tsutomu Iriguchi (RIKEN)

講演者: 松沢 哲郎 (京都大学霊長類研究所)
Lecturer: Tetsuro Yoshizawa (Primate Research Institute, Kyoto University)

講演者: 吉澤 哲郎 (国際高等研究所)
Lecturer: Tetsuro Yoshizawa (International Institute for Advanced Studies)

講演者: 尾池 和夫 (国際高等研究所)
Lecturer: Tsutomu Iriguchi (International Institute for Advanced Studies)

講演者: 松沢 哲郎 (京都大学霊長類研究所)
Lecturer: Tetsuro Yoshizawa (Primate Research Institute, Kyoto University)

講演者: 入来 篤史 (理化学研究所)
Lecturer: Tsutomu Iriguchi (RIKEN)

講演者: 松沢 哲郎 (京都大学霊長類研究所)
Lecturer: Tetsuro Yoshizawa (Primate Research Institute, Kyoto University)

講演者: 尾池 和夫 (国際高等研究所)
Lecturer: Tsutomu Iriguchi (International Institute for Advanced Studies)

- プログラム(予定) 13:30-17:00

開催挨拶

尾池 和夫 (国際高等研究所)

歓迎の辞

長谷川 寿一 (東京大学大学院総合文化研究科)

レクチャー

座長 松沢 哲郎 (京都大学霊長類研究所)

レクチャー1 Giacomo Rizzolatti
(パルマ大学)

レクチャー2 入来 篤史
(理化学研究所脳科学総合研究センター)

レクチャー3 Frans de Waal
(エモリー大学)

使用言語: 英語 (同時通訳なし)

レクチャーポスター



セミナー開催

京都大学数理解析研究所との共同研究で合宿型セミナーを開催

報告



セミナーの様子

8月6日(月)から10日(金)まで、当研究所で、京都大学数理解析研究所(RIMS)との共同研究事業の一つとして、「ヤング図形・統計物理に関連する代数的組合せ論

RIMS合宿型セミナー」を開催しました。

この4泊5日の間、国内外のさまざまな大学・研究機関の研究者30名以上が当研究所に集まり、セミナー室、コミュニティーホール、住宅棟

を活用して、熱い論議が繰り広げられました。

当研究所では、このような滞在型の研究にも対応できるよう、理想的な環境を提供していきます。

研究者が、こうした日常の喧騒から離れた場所で、異分野の研究者とも意見を交わし、その中から、新しい学術の芽が生まれることを期待します。



朝食風景
(コミュニティーホール)



国際高等研究所見学会

精華町教員の研修

報告

京都府精華町の小学校・中学校の2012年度採用教員および理科教育担当教員26名の研修の一環として、8月20日(月)に国際高等研究所の見学会が開催されました。

見学会では、まずレクチャーホールにおいて、尾池和夫所長から当研究所の概要説明や学術研

究の意義などの説明がありました。説明会の後は、研究本館施設などを見学され、研修を終えました。



尾池所長の説明
(レクチャーホール)



訃報 岡本道雄元理事長ご逝去

お知らせ

国際高等研究所の初代所長(在任:1990年4月~1994年3月)であり、第2代理事長(在任:1994年4月~1998年3月)を歴任された岡本道雄先生が、去る7月24日にご逝去されました。

岡本先生が所長在任中の1993年10月に、けいはんな学研都市の当地で開所記念式典が開催されました。式典の挨拶で、岡本先生は「東洋と西洋の文化を融合した新しい文化をスタートさせる」として、我が国に設立された当研究所の意義

並びに抱負を熱く語られました。

京都大学総長、臨時教育審議会(左:岡本道雄先生 右:中曽根康弘元総理)長、科学技術会議議員などの要職を務められた岡本先生は学術に対する並々ならぬ思いをお持ちで、当研究所の発展、ひいては我が国の学術研究のためにご尽力されました。

心からご冥福をお祈りいたします。



開所記念式典にて
(左:岡本道雄先生 右:中曽根康弘元総理)



研究活動実績 (7月1日~9月30日)

報告

会議・研究プロジェクト	開催日	研究代表者	参加者数
『ケア』からみた社会保障の新たな展望	7月21日(土)~22日(日)	西村 健一郎	12
ジェンダーからみた家族の将来	7月31日(火)	姫岡 とし子	14
数理解析研究所RIMS合宿型セミナー「ヤング図形・統計物理に関連する代数的組合せ論」 (京都大学数理解析研究所との協定に基づく共同研究)	8月6日(月)~10日(金)	石川 雅雄	32
東アジア古典演劇の「伝統」と「近代」 -「伝統」の相対化と「文化」の動態把握の試み-	8月20日(月)~21日(火)	毛利 三彌	17
交渉学の可能性-新しい世界の関係構築と紛争の予防のために	8月24日(金)	松岡 博	11
宗教が文化と社会に及ぼす生命力についての研究 -禅をケーススタディとして-	8月30日(木)~31日(金)	天野 文雄	22
老いを考える	8月31日(金)~9月1日(土)	松林 公蔵	18
2012年度第2回研究企画会議	9月3日(月)~9月4日(火)	尾池 和夫	8
複雑系情報の社会への発信 (海洋研究開発機構共催)	9月4日(火)	尾池 和夫	15
心の起源	9月14日(金)~9月15日(土)	松沢 哲郎	22
『ケア』からみた社会保障の新たな展望	9月23日(日)	西村 健一郎	9



研究活動予定 (10月1日~12月31日)

カレンダー

開催予定日	研究プロジェクト	研究代表者
10月12日(金)	三井物産環境基金 「地震と津波に学び“海と共に生きる”未来創生~気仙沼舞根プロジェクト:森と海を結ぶ干潟・湿地再生~」	田中 克
11月2日(金)~4日(日)	アジア・デザイン・エンサイクロペディアの構築	藤田 治彦
12月14日(金)~15日(土)	交渉学の可能性-新しい世界の関係構築と紛争の予防のために	松岡 博
12月20日(木)~21日(金)	ジオ多様性の研究 於:東京	尾池 和夫
開催日	高等研カンファレンス・高等研レクチャー	
12月3日(月)~6日(木)	高等研カンファレンス2012「Evolutionary Origins of Human Mind」	
12月8日(土)	高等研レクチャー2012「心の進化的起源」 於:東京大学伊藤謝恩ホール	



事務局だより

当研究所には、研究者が一定期間にわたり研究活動を行うための施設が備わっており、この8月に開催された京都大学数理解析研究所との共同研究合宿型セミナーでは、セミナー室をはじめ、住宅棟や朝食会場としてコミュニティーホールなどを活用しました。

また、Jean-Pierre Changeux博士との懇談会では、所長公館を利用しました。公館は、1階に応接室とダイニングルームがあり、広々とした空間で、懇談をするのに最適な居室になっています。

当研究所では、このような研究施設をより一層活用できるように努め、今後ホームページなどで施設について、より分かりやすくご紹介していきます

ので、是非ご覧ください。

■ 年末・年始休暇のお知らせ

当研究所では、次の日程で年末・年始休業となりますので、ご理解、ご協力をお願いします。

日程：2012年12月29日(土)から2013年1月6日(日)まで

7月18日に、木津川市木津老人福祉センター所属「木津絵画クラブ」(代表:吉本 敬氏)のメンバー12名が、当研究所敷地で、写生会をされました。当日は、大変な炎天下で、熱中症のことが気がかりでしたが、そのような心配もよそに、皆さん思い思いの場所で、真剣な面持ちで作品に取り組みしていました。

